

て材料征服時代を見ていゝ。各種材料、例へば模造紙、クレヨン、粘土、チョーク、その他の何でもをふんだんにいじらせるがよい。たゞいじらせる、と言ふ事だけを目的にしてもいゝと思ふ。その中には、たゞそれだけでは飽き足りないミ云ふ子供も出来て来るかも知れない。そしたら、それは個人ミしてのまごまりへ指導して行くミか、又大勢で一つ

唱歌 遊戯

第一週

遊戯 四回

一回目

案内(最初の導き)

やつミ附添から離れた子供をみんな連れて幼稚園の各室へ案内する。豫め年長組の先生にお願ひして、遊戯室では遊戯をしてゐる所を見せてもらふ。泣いてゐた子も泣き止んで珍らしさうに眺めてゐる。

二回目

の大きな場面をして、紙なり、ボールドなりへまごめて見るミか、そんな好い機會がちよいと出て来るに違ひない。こんな機會は逃さずに捉へて、極く初歩の協同への導き入れをする事を心に期するがよいと思ふ。あの年少組、初めの誘導保育案欄の空欄には、こんな心持が含まれて居る。

初めの頃は、一人の先生だけでピアノを弾いたり、指導もしたりミ云ふ様な事は出来ないから、ピアノの方は年長組の先生にお願ひして、又年長組の子供と一緒にしてもらふ様に打合せて置く。

遊戯室から年長組のピアノの音が聞えて来た折を見計らつて、遊戯室に行く。その時には、小さい子供にでもすぐ出来る様なやさしいものを選んでしてもらふ。

蝶々

曲(進行曲粹 No. 37)

この動作が始まった時、決して無理には強ひないで、お姉さんやお兄さん達と一緒にして見ないか誘つて見て、したい云ふ子だけ仲間に入れてもらふ。

動作

皆踞んで手で花の形を作り、一人二人が蝶々になつて自由に花の間をまじり廻る。蝶々が花にまゐるこ、まゐられた花が代つて蝶々になる。初めの間は恥しさうにしてゐるが、さあ先生と一緒に蝶々になりませう云つて手を速いで蝶々の動作をすれば、大抵出来る様になる。

行進

蝶々が済むこ、其の儘大きい組の子供たちと一緒に歩いて元の席に歸る。

其の後で、今まで仲間に入らなかつた子供も全部一人づつ一列にならべて、(年長組の女兒に間に入つてもらつて)マーチに合せて歩いて見る。先生が先頭にたつて、少しゆつくり加減に、手を打つたり、腕を横に伸ばして上下に振つたりして、調子を取りながら行進を

続ける。

三回目

自分たちだけで保育室でする。

結んで開いて

椅子に腰を掛け先生の廻りに集つたまゝゆつくり「ムスンデヒライテ：：」を歌ひながら、一緒に動作をする。「：：ソノテアドコ？」の所を色々面白く考へてするこ、興味のある遊びになる。

すつかり覚えてしまつてから、今度は椅子をのけて、子供たちを圓形に列べてする。リーダーが中央に出て、(初めは先生)皆はその云ふ通りにする。だんぐぐに出来る子供を代る。

四回目

圓形を作る。

行進しながら圓形を作るこ。ピアノの合圖で中心を向き皆手を連ぎ、又合圖によつて手を離すこ。これはなかくうまく出来ない。一三度練習して見る。

子供も大分慣れて来たので、この回は大きい組の子供

の助けを借りないで、年少組二組だけが合同して、一組づつ指導する。

結んで開いてミ蝶々をして部屋に歸る。

遊戯

して見る。

ひよこ(記事参照)

唱歌
楽器は殆んど使用せず。オルガンの前に集めて、(椅子に腰掛けて)一人宛にその子供の知つてゐる歌を尋ね、一人で歌へる者には歌はせたり、又子供と一緒に歌つたりする。

第二週

唱歌

ひよこ(福井直秋曲)

雀の子

テフテフ(エホンシャウカ)

まだ楽器には慣れてゐないから、楽器を主にしないで、子供と一緒に手をたゝいて拍子を取りながら、先生が歌つて聞かせ、幾度も一緒に歌はせる。よく歌へる様になつてから楽器に合せる。たゞ歌ふだけでは、すぐに厭きてしまふから、椅子に掛けたまゝで簡単に動作を

これは自由な氣持ちで取扱ひたい。ひよこの表現は子供の自由にまかせる。但しこれは少し慣れて來るこ、子供自身色々に表現するけれど、まだ入園したての子供は積極的には出來ないので、先生がする通りにする。
かいぐり(土川氏振付、律動遊戯参照)

第三週

唱歌

君が代

殆んどみんなが知つてゐるが、實際にはいゝ加減な聞き覚えのものが多から、正しく先生が歌つて聞かせる。

天長節の歌及び校歌

年少組の子供は天長節の式には列しないから、天長節の話をしたあみで、先生が歌つて聞かせる。

鳩ポッポ(幼稚園唱歌)

みんなの知つてゐる歌である。然し殆んぎ全部が、歌詞の一節を間違へて覚えてゐる。

ハトポッポ ハトポッポ

ポッポ ポッポト トンデコイ…

が正しいのであるが、

ポッポ ポッポト ××××××××
ナイテアソベ

ミ歌ふので注意を要す。

桃太郎(幼稚園唱歌)

歌ひながら動作をする。

遊戯

鳩ポッポ(記事参照)

桃太郎

スキップ

年長組の子供たちは、遊戯の終りに必ず一人づつ、又は二人三人ミ手を組んで、スキップをして遊戯室を一廻りするのを楽しみにしてゐる。年少組の子供には二、三回それを見せて置いた後、先生又は年長組の子供が

手を連いで一人づつスキップをさせて見る。中にはち

やんぎ出来る子供があるが、大抵はまだ出来ない、ただ馳け出すもの、ギャロップ式のもの等色々ある。そんな事にはかまはないでするまゝにさせて置く。

第四週

唱歌

コヒノボリ

これはハ調で歌ふよりニ調に上げて歌つた方が、鯉のぼりの気分が出る。

遊戯

コヒノボリ(記事参照)

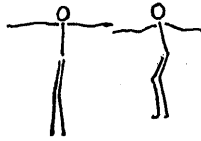
スキップ

個人々々に適當に指導する。

イコデント

トポッポ ポッポ

ポッポトハ ポッポトハ



鳩ぼっぼ

準備 圓形を作り内方

を向く

ハトポッポハトポッポ

拍手六回

ポッポポッポト

手は左右にのぼし上下

にふり羽の如くし、そ

れに合はせて兩膝を曲

げたりのぼしたりする

トンデコイ

一方の手にて招く様子

をする

鳩ぼっぼ

ハトポッポ ハトポッポ ポッポポッポト トンデコイ

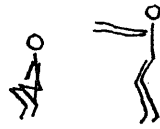
オテラマネカラ オリテコイ マメヨマルカラ ミナタベヨ

タバアモスグニ クヘラスニ ポッポポッポト ナイテアソベ

ヨベタナミラカルヤラメマ
ニスラヘカニグスモテベツ



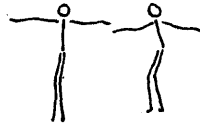
イ コテヲオ



ラカネヤノラテオ



ベリアテイナトホッポ ポッポ



オテラノヤネカラ

両手を上にあげ、屋根の如き形を作る、體はのばす

オリテコイ

屋根にした手を體の前にのばし、次に兩側におろす。同時にしやが

む

マメヤルカラミナタベヨ タベテモスゲニカヘラズニ

しやがむだまゝにて、一方の手に豆を入れ一方の手でこれをまく、

(この時、一三人は鳩さなつて圓の中に入り、兩手にて嘴を作り豆をたべて歩く様子をする)

ホッポポッポトナイテアソベ

立つて、手は左右にのばし羽の如く上下にふり、手に合はせて、兩膝も曲げたりのはしたりする

雀の子

First system of musical notation for '雀の子'. It consists of three staves: a vocal line in treble clef with lyrics, a piano accompaniment in treble clef, and a bass line in bass clef. The lyrics are: ちゅーちゅク ちゅーちゅク スズメノコ

Second system of musical notation for '雀の子'. It consists of three staves: a vocal line in treble clef with lyrics, a piano accompaniment in treble clef, and a bass line in bass clef. The lyrics are: ウマレタ トキハ マルハ が の
しつほが はえ て はね が て かて

Third system of musical notation for '雀の子'. It consists of three staves: a vocal line in treble clef with lyrics, a piano accompaniment in treble clef, and a bass line in bass clef. The lyrics are: ミミモ キコエス メモミエ ス
みみも きこえて めもみえ て

Fourth system of musical notation for '雀の子'. It consists of three staves: a vocal line in treble clef with lyrics, a piano accompaniment in treble clef, and a bass line in bass clef. The lyrics are: アタマの フリフリで チューチュク チュ
うらの おやまて ちゅーちゅく ちゅー

コノメズクマウチクマウチ
カダハルマハキトタレマウ

ズエコキモミミ

ズエミモメ



雀の子

準備 圓形を作り内方を向く

一、チュウチュクチュウチュクスズメノコ、ウマレタトキハマルハダカ

手は胸のまじろにくみ、しやがむでる

ミモキコエズ

しやがむだまゝにて、掌で耳をおほふ

メモミエズ

掌で目をおほふ

アタマフリフリチュウチュクチュウ

手を胸にくみ最初と同じ形のまゝ頭を左右にふる(左右各々二回)

二、チュウチュクチュウチュクスズメノコ

しやがむでるたのを次第に腰をのばしてゆく、手は左右にひろげて上下に羽の如く動が

しつゝ立つ(四回目に全く立つ様になる)

テエハガホッシ コノズスクチウチクチウチ ウチクチウチリフリフマタア



シッポガハエテ

片足を一步後にひき、両手を後にのばす

ハネガデテ

足ぶみ三回、手は左右にのばし羽の如く上下にふる

ミミモキコエテ

立つたまゝにて、掌をひろげ耳のうしろにおく

メモミエテ

指でメガネを作り目のまゝころにあてる

ウラノオヤマデ

手は羽の如く動かし乍ら、自分のまはりを一周する

チュウチュクチュウ

手は羽の如く上下にふり乍ら、足は兩膝をそろへて曲げたりのばしたりする

コヒノボリ

ヤネヨリ タカイ コヒノボリ オホキイ

マゴヒハ オトウサマ チヒサイ ヒゴヒハ

コドモダチ オモシロ サウニ オヨイデル

コヒノボリ 戸倉ハル振
エホンシヨウカ

準備 圓形を作り内方を向き、圓の中心に鯉のぼりを立てるこころにする

ヤネヨリタカイコヒノボリ

圓の中心に向ひ鯉をあげる動作をする、片足を前に出し、両手で綱をひき、顔は上を向け體全體拍子をきつて動かす

オホキイマゴヒハオトウサマ

手をつなぎ圓周にそつて歩く、圓の中心の鯉の方に顔を向けて

マサウトオハヒゴマイキホオ



リホリヒコイカタリヨネヤ



チヒサイヒゴヒハ

圓の中心を向き、互に兩さなりの人の肩に手をのせる様にし乍ら、圓心に向つて進む

コドモダチ

止つて左右に交互に顔をむけ互に兩さなりの人ミ顔を見合はせる(四回)

オモシロサウニオヨイデル

右足一步後にひき、左斜上を見同肘に拍手三回

次に左足を一步後にひき、右斜上を見同時に拍手三回

以上二つの動作をもう一度つつくりかへす

